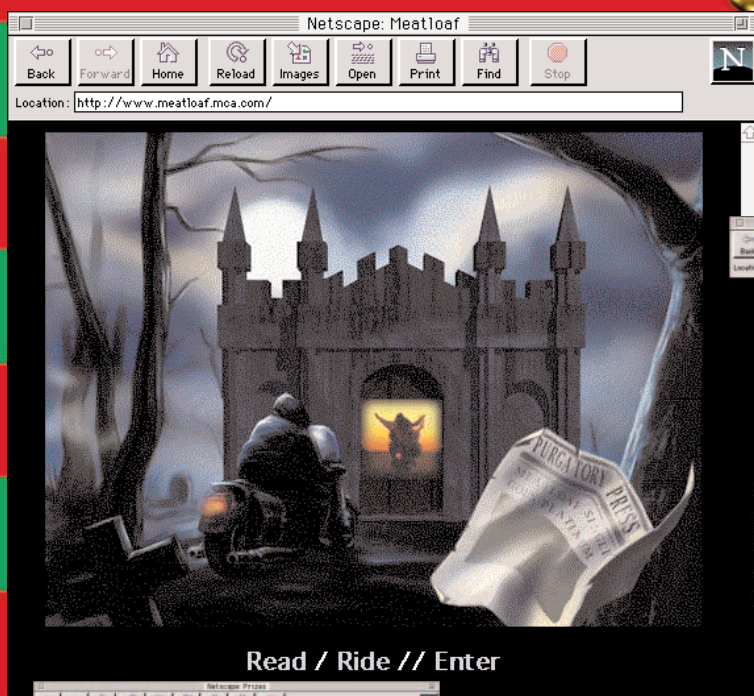




今泉 洋の

What's Cool



繊細なヘヴィロッカー、ミートローフの世界 Meatloaf

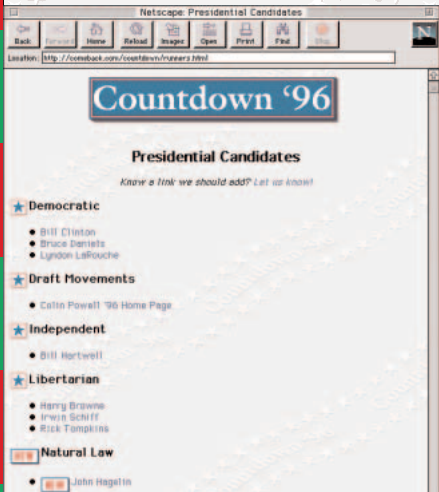
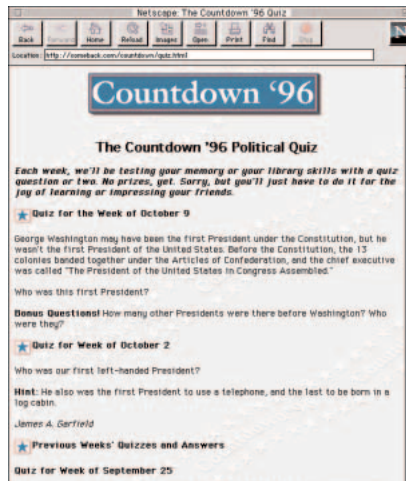
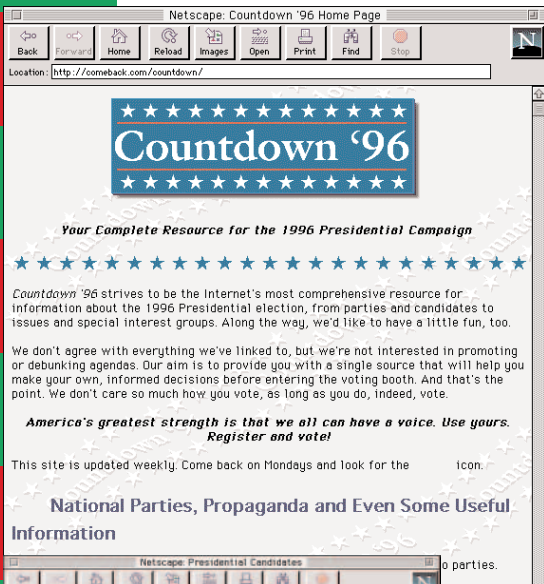
<http://www.meatloaf.mca.com/>

つい昨日まで、レコード会社のホームページが……と騒いでいたら、もうアーティスト自身でサイトを持つのが当たり前の時代になってしまった。考えてみると、

たまたま自分の表現を世の中にアピールできる媒体がコンサートやCD、ビデオ、MTV であっただけで、ウェブの持

つ機能も彼なりに表現のメディアにしていくのだろう。となると、これはレコード会社もおちおちしてられないはず。さて、決してハンサムとは言えないヘヴィ（体重も含む）ロッカーのミートローフが開いたこのホームページは、彼お気に入りのTriumphのバイクが当たる懸賞があり、スクリーンセイバーのプレゼントありの、Acrobatを使った譜面提供やCDLinkを使ったウェブとCD連携のDJありの……といった数々の新機軸が、彼独自のイメージの

中に散りばめられている。もちろん、RealAudioやMovieのファイル、コンサート情報、ファンクラブのお知らせなどパターンは押さえたうえでの話だ。さて日本は……と見ると、忌野キヨシローのファンが寄ってたかって作ったという大作の単行本「生卵」には面白い動きを感じるが、まだ紙の世界の話だしね～。アーティスト起業家の最右翼と言われてる小室哲哉あたりに期待してみる？



本命は誰？ 米大統領選挙のすべてをウォッチ Countdown '96 Home Page

<http://comeback.com/countdown/>

来年は米国大統領選挙の年である。世の中、4年前とは大きく様変わりだが、なんといっても最大の変化はインターネットの存在だ。ウェブのおかげで大きく大衆化が進んだ今では、各候補者、支持団体にとってインターネットはもはや無視できないメディア。すでに数多くのホームページが立ち上がっている。そうした現状ならではの視点から、政党や候補

者、イシューから利益団体のかけひきまで、来年の大統領選挙のあらゆる局面をインターネットで同時進行的に楽しんでもらおうというのがこのページである。

大統領選参加を表明している、あるいは強力な支持を得ている候補者のホームページはもちろん、注目される元参謀総長コリン・パウエル氏の動向や各州諸勢力の動き、予備選の様相、世論調査の

結果、各種政治団体、メディアに登場するオピニオンや分析、そしてクイズやユーモアに至るまで、あらゆる政治的動きをリンクし、さらにチャットルームも設けられる予定だ。4年に一度の政治ショウをこれまでになく情報環境で楽しむことができるこのページ。政治と日々拡大変貌するメディアが作り出す、まさに今世紀最大のメディア実験を見逃す手はない。

お葬式から墓場まで インターネットで RIP ? The Obituary Page

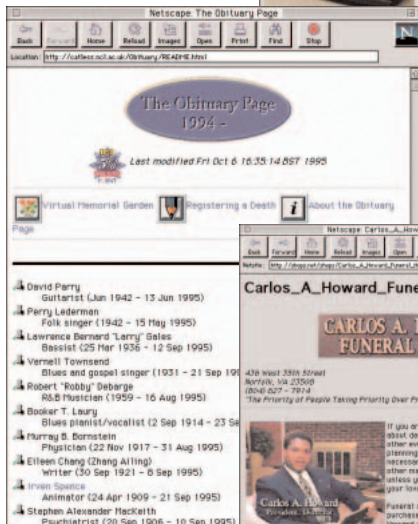
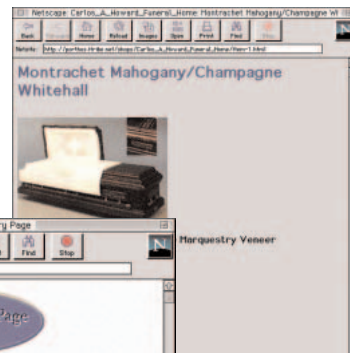
<http://catless.ncl.ac.uk/Obituary/README.html>

インターネットの商業利用が注目され始めて、一般紙にもそんな話題が増えてきた。

「オンラインショッピングでこんなものまで買える！」というのが記事のツカミだったりするわけで、「書籍からうどん、コンドームまで」なんて書いてあるが、さすがに「お葬式」までは書いてないみたいだ。というわけで、これからお葬式という方に「Carlos_A_Howard_Funeral_Home (http://shops.net/shops/Carlos_A_Howard_Funeral_Home/home.html)」というお葬式のオンラインショップのお知らせである。今からウェブで棺桶などを選んで予約しておく

よいかもれない。

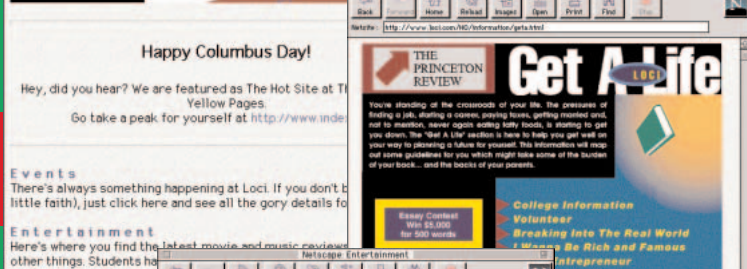
さらに亡くなった場合は是非この「The Obituary Page」で世界中の人にお知らせしよう。このページはウェブの死亡広告欄といったところ。有名無名を問わず、インターネット上に名を残したいという人（本人じゃないと思うが……）は、サーバーが存在し続ける限り、サイバースペースに名を残すことができる。ちょっと眺めてみると、日本人では俳優の岡田英次、渡辺元自民党副総理、御手洗前キヤノン社長などの名前があり、生前の業績を讃えるページへのリンクを持っている故人もある。お隣りにベットの墓地があるのもうれしい。





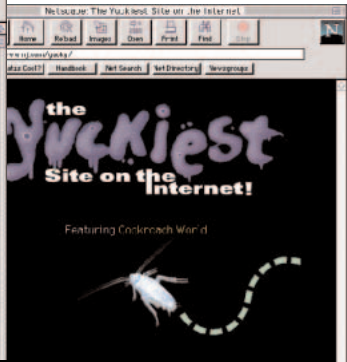
プロモびっくり 大学生による大学生のためのウェブ
The Loci

<http://www.loci.com/>



米国の有名書店チェーンである Barnes & Noble がスポンサーとなり、ボストン大学コミュニケーション学科の学生がデザイン、運営を行っているのがこのサイトだ。内容は全米および世界のキャンパスニュースやキャリア形成のためのアドバイス、仕事、旅行、イベント、チャット、ゲーム、映画や音楽のレビュー、著名人との交流など、大学生活を充実したものにするための情報が、お仕着せではなく、学生自身の視点から構成されている。中でも仕事やキャリア形成に関するページは充実しており、彼らのしっかりした意識を窺い知ることができる。

という堅いことは別にしても、このデザイン、このセンス、この内容。まったく雨後のタケノコ状態の日本のホームページと比較すると……である。やっぱりこうしたものは、口うるさいスポンサーの言うことをホイホイ聞いてしまう下手なプロより、センスの良いユーザーに作らせるに限る。スポンサーの広告ページに「Don't Go Here」なんていうタイトルを付けるのもオシャレだし……。情報学部をうたっている日本の某有名な学部では、これくらいのものできるかなあ～？



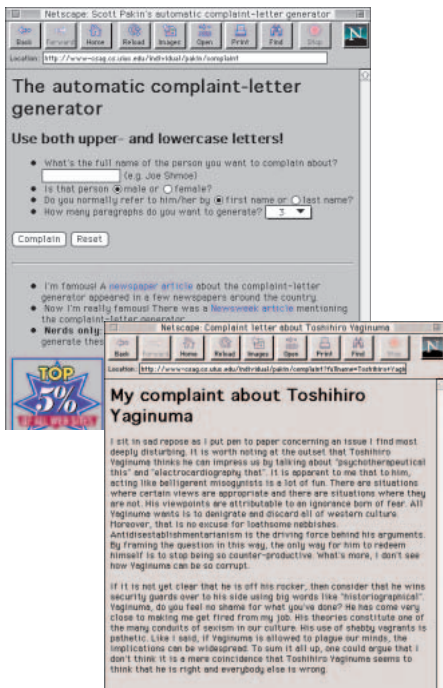
直訳すると「インターネットで最もゴキョエ～なサイト」である。そして今回フィーチャーされているのが、あのゴキブリ（というより、このページを見ていると次第に「ゴキちゃん」と呼びたくなる）なのだ。「ゴキちゃん解剖」「世界のゴキ・ファミリー」「ゴキちゃんの日」「ゴキちゃんの捕まえ方」……しかも、アメコミ的なキャラクターやいかにもゴキな感じの音

声ファイル、ムービーという具合に、まったくゴキブリのマルチメディア展開である。「今日の一言知識」で知っているかと自慢できる(?)ゴキ知識なんかもオシャレに披露されている。うーん、さすがにでかいゴキブリを集めて「全米ゴキブリ選手権」をやってしまう国だけのことはあるぞ。ちなみに、このサイトを運営しているのはアメリカ東海岸の千葉

県と言われるニュージャージー州の地元通信企業と最近設立された科学教育研究機関であるLibrary Science Center。確かにアメリカのガキンチョは恐れを知らないというか、へんてこなものが大好きだが、こういうアプローチで科学教育を目指すあたりに彼の地のフトコロの深さがあるわけだ。日本の教育関係者も野暮なページばかり作ってないで、ちっとはセンスを磨きなさい!



インターネットで学ぶ 楽しい「ゴキちゃん」の世界
The Yuckiest Site on the Internet
<http://www.nj.com/yucky/>



「苦情」と「言い訳」笑える英作文ジェネレータ
 Scott Pakin's automatic complaint-letter generator
<http://www-csag.cs.uiuc.edu/individual/pakin/complaint>

文章を書くというのは面倒な作業である。特に第三者に宛てた苦情案件説明の手紙ほど面倒なものはない。ストレートに書いてしまおうとこっちの度量を疑われるし……なんて苦情を言うのに苦労しなけりやならないんだ、まったく！ という人にぴったり……なわけじゃなくて、ただ単に「ホントにあいつにはあったまきちゃったよね～」みたいな第三者宛の

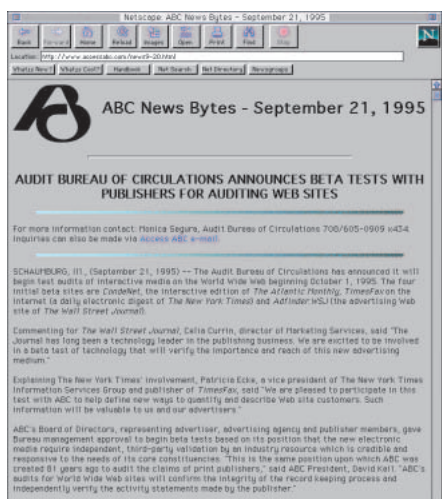
文章が自動的に出てくるのを見てほくそ笑むという……うーん、考えてみるとちと暗い笑いを提供してくれるのがこのページ。苦情対象の名前と性別、それごパラグラフの数を指定するだけで、ウィットに富んだ文章が出てくる。これだけじゃ、ちょっと芸がないと思った方には「EVIL Little Brother Excuse Generator」(<http://www.dtd.com/excuse/>)

)がお勧めだ。こちらはシラッと「ごめんね」文章を書いてくれる自動書機で、「いや～、キミの家を燃しちゃったんだけど」や「ディスクを壊しちゃった」「キミの奥さんと寝ちゃった」など、適当な言い訳を交えた文章を書いてくれる。外国人の友人がいる人は、来年のエイプリルフールに向けてストックを作っておこう。

最近、米国の広告業界関係者の間でちょっとした話題になったのが、このWebTrackとABCとの協力話。この場合、ABCといっても最近ディズニーマークを掲げるようになった(誇張です)TV局ではない。正式名称は「Audit Bureau of Circulations」、日本では「新聞雑誌部数公査機構」という名称で、新聞や雑誌の正確な部数を調査公開しているところ

で、広告主はこの数字をベースに最適なメディアを選ぶという権威ある代物だ。ということでお分かりと思うが、つまりはウェブが新聞や雑誌に次ぐ新しい広告媒体として本格的に認知されたというお話である。このページにはウェブに広告を出している企業のデータベースをはじめ、広告掲載可能なホームページやその料金体系、その利用者

数、対象ユーザー、現在のスポンサーなどのデータ、さらにはポピュラーなサイト番付、ウェブ関連のマーケティング会社リスト、ニュースレターなどが掲載されている。特に米国のハイテク系マーケットを狙いながら為替レートに悩む企業の担当者には必読かつ(「こんな価格で!」と)驚きのページに違いない。



ABCとタイアップ ウェブは新世代の広告媒体? WebTrack

<http://www.webtrack.com/>



カテゴリ別「新着情報」満載 これでキミもウェブ評論家? What's New Too!
<http://newtoo.manifest.com/WhatsNewToo/index.html>

考えてみると「What's New」が「新着情報」とは変な日本語訳だが、ともかく世界中で新設されるWWWのホームページの数は一日500以上になるという。とは言ってもこれは英語のページを対象とした数字で、それ以外の言語のものを加えると?? このサイトはパーソナルホームページも含め、あらゆる新しいホームページ(残念な

がら日本のものはないようだ)が立ち上がり次第、36時間以内にそのURLを、カテゴリや簡単な説明を加えて知らせてくれるという便利ものだ。更新は毎日行われるが、一日500件以上ともなると量が多いので、キーワード検索機能も持っている。さらに便利なのは「Customized Announcement」というページ。ここでは18のカテゴリ別に「当日のみ～7日前から」

といったタイムレンジ設定や説明の詳しさを選択して内容を表示することができる。カテゴリの中には「Must be 21 years of age or older」というものもあるから、当然、あの手のものの最新URLもバッチリ。某団体の圧力で消えてしまわないうちにチェックを入れることができる? となれば、まるで某PC通信運営会社の休日狙いの書き込みを読む気分だ(苦笑)



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp